

**1 登下校**

- ①制服をきちんと着用する。
- ②登下校は徒歩とする。自転車の使用は禁ずる。
- ③登下校は通学路を利用する。寄り道等はしない。
- ④朝は5分前までに登校し、清掃時の服装に着替え、朝読書を始める。（8時25分着席）
 - ・テスト2週間前は朝自習でもよい。メタモがある週は朝自習とする。
 - ・着替えて着席していなければ遅刻とする。
 - ・チャイムが鳴った時点で8時25分とする。
- ⑤帰りは下校時刻を守る。
- ⑥部活動等後の下校時の服装は体育着等で帰ってもよい。

**2 身だしなみ及び持ち物****(1) 頭髪**

- ①中学生らしい髪型とする。（おしゃれを目的とした髪型ではない、さっぱりとした髪型）
- ②髪が肩にかかる場合はゴムで結ぶ。色は黒・紺・茶とする。
 - *髪の色に手を加えない。アイロン等で矯正しない。（一部例外は除く）

(2) 服装**新制服 冬服**

	○本校指定の制服上下を着用する。 (スカート・スラックス、ネクタイ・リボンはそれぞれどちらかを選ぶ。) ○ブレザーの第1ボタンだけ留める。 ○ブレザーの下に白のワイシャツ・ブラウスを着用する。 第1ボタンまで留め、シャツの裾は入れる。 ○スラックスはベルトをする。ベルトは黒・茶の無地のものとする。 ○スカート丈は膝が隠れる程度とする。
--	--

新制服 夏服

	○本校指定の紺のポロシャツを着用も可とする。 (ワイシャツ・ブラウスでも構わない。) ○ポロシャツの裾は出してもよい。 ただしワイシャツ・ブラウスは出してはいけない。 ○制服の下はスカート、スラックス、ハーフパンツから選択する。 ○スラックス、ハーフパンツはベルトをする。 ○第一ボタンは開けてもよい。ただしその他のボタンは閉める。
--	--

②授業時は制服とする。ただし、特別な授業では教科担任の指示に従う。

☆ジャージでもよい場面

例 清掃→国語→体育、美術→社会→体育、体育→帰りの会→部活

ジャージで受ける授業などに挟まれている国語や社会は、ジャージでも OK.

例 美術→理科、理科→美術、理科→美術→社会→体育

着替える移動教室と着替えない移動教室が連続する場合は、ジャージでも OK.

例 体育→給食(昼休み)→数学→美術

給食・昼休みがあってもジャージで受ける授業などに挟まれている場合はジャージでも OK.

☆制服で受ける場面

例 清掃→G・S→理科→体育

制服で受ける授業が2時間以上続く場合は、制服で受ける。

例：体育→数学→帰りの会

帰りの会も制服で受けるものとするのでこの場合は、制服で受ける。



③入学式・卒業式・始業式・終業式・朝礼・集会・テスト時などは制服で臨む。

＊儀式では、制服の下にジャージは着用しない。ワイシャツを着用し、セーター可。

(入学式、卒業式のみは第1ボタンをしめる)

④清掃時の服装は、体育着又はジャージとする。(ジャージの中に着る Y シャツは可)

また、新制服の夏服の時期は、ポロシャツ、ハーフパンツも可。

⑤体育時の服装は学校指定のものを着用する。

また、**体育着の下に着る肌着は、原則として無地とする。**

⑥セーター、カーディガンは、黒・紺・グレー・白・ベージュで、えりは丸首かV字とする。

制服上着の下に着用する。首元、裾にライン有りのものも可。袖・丈の長いものは不可とする。

ベストも可とする。

カーディガンのボタンは必ず全て閉めること。

⑦コート・マフラー・手袋は冬季に限り着用してもよい。防寒具の種類は問わないとし、色は華美ではないものとする。

⑧タイツ・レギンスの色は黒・紺の無地とする。ヒートテックインナー等は着用しても構わないが、外に見えないようにする。(ハイネックの物は不可。体育着の下に着用するものとする。)

(3) 革化

①**運動靴**を使用する。

②校舎内では学校指定の履物を使用する。

＊記名をする。かかとをつぶさない。

(4) カバン

①手さげ・肩かけカバン・バックパックとする。キーホルダーなどの装飾品は1つまでとする。

(手のひらサイズまで。他の人との区別をつけるため。)

(5) 名札

①制服・体育着は指示された通り、名札をつける。制服用の名札を紛失したり破損したときは、速やかに購入する。

＊制服用名札 1枚＝270円(名札注文袋に金額を入れクラス・氏名を書き、注文する)

②学用品・その他の所持品には必ず記名する。(学級・氏名を明記のこと)

(6) その他

①くつ下は白・黒・紺・グレー、茶とする。ルーズソックス・くるぶしソックスは不可とする。

②学校生活に必要なものを持ってこない。刃物・ピアス・携帯電話(スマホ)・菓子などの

持ち込みは禁止する。(カッターナイフ・小刃などの刃物は、教科等で必要な場合のみ持ち込み可)

③水筒は年間を通して持ち込み可とする。中身は、水・お茶・スポーツドリンクとする。

④ひざ掛け・ブランケットの使用を可とする。

教室、特別教室での授業中等の使用は認め、廊下では使用しない。デザインや色の指定はなし。

⑤日焼け止め、制汗シート、リップクリーム等の使用は無着色・無香料のもののみとする。

それぞれ本来の使用目的に準じて使用する。

3 職員室・保健室・相談室等への出入り

- ①必要なとき以外は出入りしない。**騒がない**。
- ②カバンやコートを廊下に置いてから入室する。
- ③ドアをロックし、学年・組（または部活）・名前・用件を伝えて入室する。
- ④室内のものに許可なく手を触れない。正当な理由があってもものに触れるときには必ず周囲の先生にその理由を説明してからにする。

4 欠席・遅刻・早退・見学の場合

- ①欠席や遅刻、早退をするときは、8時15分までに、保護者がF o r m s を使って学校に連絡する。
（電話連絡の際は、8時～8時15分の間に連絡する。）
- ②家庭の事情により早退、けがや病気などによる見学は、保護者に生徒手帳の「学校と家庭の連絡」欄に記入してもらい、本人が学級担任や教科担任に提出する。
- ③授業を最優先し、通院などは極力放課後や休日に行う。



5 昼食

- ①昼食（給食）は、マナーを守って食べる。
- ②昼食時間中は教室内で過ごす。＊給食時間 12：55～13：20 この間は教室にいる。

6 健康・安全

- ①ハンカチ・ティッシュは毎日、清潔なものを用意する。
- ②爪は定期的に切り、長く伸ばさない。
- ③体育の授業後やかぜの流行時等には特に、うがい・手洗い・消毒を励行する。
- ④健康診断で自分の健康を知り、疾病があるときは早期に治療する。
- ⑤事故や危険と思われるところを発見したらすぐ連絡する。
- ⑥公共物を破損した場合も、同じくすぐ連絡する。
- ⑦校舎内では、落ちついて行動する。
- ⑧廊下・階段は右側を歩く。
- ⑨行動するときは安全第一に考え、事故防止につとめる。

7 学習

- ①予習、授業、復習に努力を惜しまず、すすんで学習する。
- ②計画、実践、反省を通して自分に効果的な学習の仕方を身につける。
- ③学習に必要な用具や宿題を忘れない。
- ④開始時刻前に授業の用意をし、着席する。
- ⑤**授業の始めと終わりの「礼」は心をこめてきちんとする。**
- ⑥授業中是不必要に席を立たない。体調不良など特別な事情があるときは、教科担任に申し出る。
- ⑦授業中の私語や授業と無関係の作業をしない。
- ⑧自習の場合は自習監督の先生の指示に従い、教科係が中心になってクラスの仲間が協力し、きちんとした態度で取り組めるようにする。
- ⑨提出物はしっかりと仕上げ、期限を守って提出する。（忘れた場合は放課後居残りになることもある。）



8 テストの受け方



(1) テスト前

- ①座席は出席番号順にする。
- ②トイレや水飲みは休み時間のうちに済ませておく。
- ③机の中を空にし、カバンは指定された場所に置き、机のわきには何も置かないようにする。
- ④テストで使うもの（筆記用具・定規・コンパスなど）は休み時間のうちに準備しておく。
*多機能シャープペンシルは不可。
- ⑤下敷き、ペンケース（筆箱）や計算機能があるものは机の上に置かない。
*机の上が傷などのデコボコで書きにくいときは、テスト監督の先生に申し出て「下敷き使用」の許可をもらう。その場合、下敷きは無地とし落書きなどが無いものとする。

(2) テスト開始

- ①開始のチャイムが鳴る前に着席していること。（目安は5分前）
- ②テストは全員に問題が配られた後で、チャイムの合図で始める。
- ③問題用紙に表紙のない教科については、解答用紙を問題用紙の上に置く。

(3) テスト中

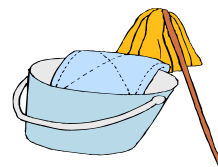
- ①試験開始後、解答用紙には必ず最初に記名（学年・組・出席番号・名前）をする。
- ②解答は読みやすい字で、ていねいに書く。
*薄い字、小さい字、くせ字、他の字とまぎらわしい字は不正解となることがある。
- ③すべての問題を解き終えたら、必ず見直しをする。
- ④途中で体調が悪くなったり、質問したいことが出てきたりした場合は、黙って手をあげ、先生の指示を受ける。
*テスト中の私語、用具の貸し借りは禁止する。また、不正行為やまぎらわしい行為は0点になる場合もある。（テスト返却後の書き直し・書き足し等も同様）

(4) テスト終了

- ①終了チャイムが鳴ったら、解答用紙の記入をすぐにやめる。
- ②列の最後尾の生徒はただちに出席番号順に解答用紙を集めて提出する。
- ③先生の指示を受けてから休み時間にする。それまでは勝手に席を離れない。

9 校外生活

- ①常に七里中学校の生徒であるという自覚を持って行動をする。
- ②家事など家の人の手伝いを進んで行う。
- ③外出するときは家の人に内容（行き先、用件、同伴者、帰宅時間など）を伝える。
防犯ホイッスル等を携帯することが望ましい。
- ④不審者から接触を受けたり、危険を感じたりしたときは、近くの家に助けを求め、迷わず110番通報をする。 *夜遊びや生徒だけの外泊はしない。



10 その他

- ①電気、水の節約、また、換気を心掛ける。
- ②他のクラスや他の階には不必要に出入りしない。
- ③相手を思いやった言葉遣いや、行動を常に心掛ける。
- ④校則見直し委員会による年度内の校則の変更もある。